



# 福ふくに徳とくあり ふうぐふうぐに毒どくあり

「世の中は澄むと濁るの違  
いにて、福に徳あり、ふうぐに  
毒あり」。

「ふく」と「ふうぐ」、「とく」と  
「どく」。なるほど妙に納  
得します。さらに「刷毛はけに毛  
があり、はげに毛がなし」な  
どと続けば、濁点のあるなし  
で意味が変わる日本語の使い  
方には、楽しみだけでなく細  
心の注意が必要なようです。

日本語は難しいものです。  
「推認」という漢字がありま  
すが、確かめなくても状況と  
経験から一般的に納得できる  
結論を導くという意味です。  
例として「体中に汗をかいて  
いるので、きっと暑いのだろ  
う」と推認しますが、冷や汗  
や寝汗など汗にもいろいろあ  
り、暑いと結論づけることは  
できません。また「やかんか  
ら湯気が出ていたら、やかん  
の中は熱湯だから気を付け  
て」と言えるかどうかです。

「臆測」という言葉もあり

ます。証明されていないこと  
でも自由に物語を描く時に  
「臆測」でものを言う」のよう  
に使われています。「推認」で  
結論づけることも、「臆測」で  
ものを言うことも、時として  
誤解を与えることもあるので  
物言いは慎重でありたいもの  
です。

「ハミス ハナミス（葉見  
ず 花見ず）」という花は彼岸  
花のことです。彼岸花は、葉  
が出る前にするすると茎が伸  
びて花が咲き、葉は花が終わ  
ってから出ます。葉と花をい  
ちどきに見られぬがゆえの  
異名と、ある本の解説にあり  
ました。

「曼珠沙華まんじゅしゃげ」はよく知られ  
ていますが、花の形からか  
「舌曲がり」と呼んでいる所  
もありますが、同じ花を呼ぶ  
にも感心した名前ではありません。

「善は急げ」ということわ  
ざの意味は「よいと思ったこ

とは、急いで行動せよ」です。  
ただし「善」には、ひとつに  
「人や社会への善行」であり、  
もうひとつは「自分にとって  
よいもの、好都合なもの」と、  
解釈が2通りあります。

「今日も元気だ、たばこが  
うまい！」という宣伝文句が  
ありました。ところが、濁点  
を一つ取ると「今日も元気だ、  
たばこかう（買う）まい」と、  
宣伝と逆行するいわば禁煙の  
すすめにも早変わりし、企業と  
しては言葉遊びとして楽しむ  
どころではありません。

「推認」そして「臆測」、  
「善」や「濁点」の持つ二面  
性など、秋の夜長に言葉の持  
つ意味を勉強しなければと思  
う昨今です。



指宿市長  
豊留悦男